

北九州市民の会ニュース

市民連合と5党派会合 共闘再構築 大きなステップ

12月7日(木)、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は、国会内で、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖縄の風」の5党派の書記局長・幹事長らに対する政策要望会を開きました。市民連合は(1)憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない(2)市民の生活を守る経済政策(3)ジェンダー平等・人権保障の実現(4)気候変動対策強化、エネルギー転換の推進(5)立憲主義に基づく公正で開かれた政治一の5項目を次期衆院選挙に向けた野党の共通政策とするよう要望。これを受け、各党が意見を表明しました。

立民の岡田克也幹事長は「5項目で野党がしっかりと協力して力合わせができる」「力を合わせて大きな政策転換をめざしていきたい」と発言しました。これに、共産党の小池晃書記局長は「非常に心強い発言だ」と呼応。岸田政権の支持率が急降下し続け



共通政策の要望書を手交する野党各党代表と市民連合のメンバー。左から4人目は小池晃書記局長＝7日、衆院第2議員会館

るなか「野党が力を合わせ、自民党政治を終わらせ、新しい政治をつくっていくことが非常に大事だ」と述べ、「市民と野党の共闘の再構築に全力を尽くしていきたい」と表明しました。れいわの櫛渕万里共同代表、社民の服部良一幹事長、沖縄の風の高良鉄美参院議員もそれぞれ発言しました。

小倉北区区民の会

学校給食無償化求め地域訪問活動

12月9日(土)10時30分～11時30分、小倉北区区民の会は、学校給食の無償化を求め、北区泉台のひなたの街へ訪問活動をしました。ひなたの街は、最近出来た子育て世代が多く居住している200戸近い新興住宅街です。出発前に打ち合わせを行い、各訪問区割りとし留守宅には返信封筒付き署名用紙の投函を確認し、1時間後に再び合流しました。訪問趣旨を伝えるとほとんどのお宅が出て来られ、快く署名に応じてくれました。やはり、子育て世代が多いので「学校給食無償化」への関心の高さが伺えました。



第 545 回 さよなら原発！金曜行動

さよなら原発！北九州集会第 2 回実行委員会

12 月 15 日、小倉駅デッキで、さよなら原発！金曜行動がありました。この日で 545 回目です。リレートークと署名活動で、原発廃炉と再稼働反対をアピールしました。



その後、北九州生涯学習総合センターで、さよなら原発！北九州集会第 2 回実行委員会が開催されました。実行委員会では、以下の内容が確認されました。



1 北九州集会

3 月 10 日 (日) 13 : 00
勝山公園 集会後パレード

2 「サイレント・フォールアウト」上映会

2 月 11 日 (日) 13 : 00 ~ 15 : 00
ウエル戸畑多目的ホール 参加費無料

3 九電本店行動

3 月 27 日 (水) 12 : 00 ~ 15 : 00
公開質問状・団体交渉

平和をあきらめない北九州ネット 第 9 回総会
日時: 1 月 21 日 (日) 14 時から
場所: AMS 階 311 ~ 313 会議室

- 第一部: 第 9 回総会
2023 年の活動の総括、今後の方針など
- 第二部: 記念講演
名古屋学院大学 飯島 滋明 教授

止むよ 軍拡増税

記念講演
— 進む軍事化と、日本の平和への針路 —

講演内容: イスラエルのガザ侵襲によって戦争の実相をまざまざと見せつけられているときに、南西諸島や九州全体の軍事化がどんどん進められています。憲法改悪の動向を含め戦争をする国づくりに対する私たちの闘いと日本の針路を明確にします。

Profile: 1969 年東京生まれ、2007 年 3 月早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。現在、名古屋学院大学教授 (憲法学・平和学)。戦争をさせない 1000 人委員会事務局次長。安保法制違憲訴訟常任幹事。著書等に『日本軍人入門 Q&A』(吉川弘文館、2014 年)、『自衛隊の変貌と平和憲法』(現代人文社、2019 年) など。

名古屋学院大学 飯島 滋明 教授

市民のみなさん
戦争は、始まったらなかなか終わらない。多くの市民、なかでも女性や子供が犠牲になります。止めなければ、究極「ジェノサイド」まで行き着くことを、今、私たちは見えています。戦争は、私たちの生活より優先して膨大な国家予算を消費します。この流れを絶対に止める意志を固め合しましょう。

連絡先: 平和をあきらめない北九州ネット: 池上 090 6207 9303

小倉駅北口から徒歩 5 分

北九社保協通信

報告・資料集 2023 年 11 月号
11 月 30 日 事務局発行

市保護課との懇談会に向けて事前申し入れ事項を提出



11 月 10 日に毎年、実施している北九州市保護課との懇談会に向け事前の申し入れ事項を当局に提出しました。当日は保護係長と適正化担当係長が対応しました。この間、懇談会ではより良い生活保護制度を目指すことを目的に市民現場の状況を明らかにし行政と協議を行ってきました。その結果、長年の懸案事項となっていた「14 日以内の生保決定」や「市 HP での生保申請の広報」「扶養照会への柔軟な対応」などの成果や前進があがっています。今回は特に「自立更生費」と「介護扶助や施設入所の課題」を中心に 12 月 22 日に懇談を行う予定です。

市担当者へ申し入れ書を渡す 高木会副

「介護の日」に民医連健和会と共催で相談会を実施

11 月 11 日介護の日に中央社保協や民医連からの提議を受け、昨年に引き続き健和会と共催で「介護・認知症なんでも相談会」を実施しました。相談員として当日は健和会のケアマネや医療ソーシャルワーカーが対応しました。当日は件数は少なかったですが、地域から相談が 4 件ありました。相談内容はどれも深刻で「どこに相談したらよいのか」「何か解決策はないだろうか」と悩む介護をしている家族からの悲痛な声に答えがすぐには見つからない事例にも参加した相談員はしっかりと話を聞き受け止めていました。



相談電話に耳を傾ける相談員の皆さん

生保 110 番には 4 件の深刻な相談

11 月 21 日に定期継続開催の「生保 110 番」を実施しました。残念ながら当日はマスコミの取材もありませんでしたが、地域配布したチラシを見ての相談が 4 件ありました。中には直接、事務所へ相談に来られた方もいらっしゃいました。この方は困った時に相談しようとして、配布したチラシを大事にとっていて今回、生保 110 番が実施されている事を知らずに来所され「夫の医療費がかり今の年金だけでは生活が出来ない」との相談で弁護士が対応することができ早速、その場で福祉事務所へ申請に行くこととなりました。また、定期的にチラシを撒いている地域の 60 代兄弟からの相談には後日、生健会が生保申請同行することとなりました。やはり、地道に継続してチラシを配布する事の重要性を痛感した今回の相談会でした。

相談者から聞き取りをする弁護士

いのちと暮らしを守る相談会

フリーダイヤル (通話料無料)

0120-15793 (ひんこんくそう)

12 月 23 日 (土) 10 時 ~ 18 時

コロナ禍に加え物価高騰の影響で生活に困っている方、健康に不安を抱えている方、悩まず電話を!

弁護士、生健会、病院ケースワーカー、看護師などの専門家が無料で相談に応じます

平和と暮らしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F

TEL 093-592-5000

fax 093-571-4346

http://siminnokai.sakura.ne.jp

e-mail: koe@siminnokai.com

